

見えたその漁船も、展示館内では巨大なものに感じられた。壁に沿って写真、図表、地図、絵画、乗組員個人の持ち物などが並べられている。ガラスの丸い小さいビンもあるが、その底に灰色を帯びた白い粉―死の灰がみえる。この灰は一九五四年三月一日に漁船・福竜丸に上つたもので、当時、船は太平洋上のビキニ環礁から北東百数十キロとはなれない所で操業していた。

アメリカ合衆国がこの地域で水爆実験を行ってから三時間ほど後に灰が降った。やがて漁夫全員―一ばん年配者は39才、若い者は18才―が気分が悪くなつた。操業を中断して漁船はあわてて家路に向つた。二週間後に乗組員たちは放射能を浴びたことを知った。医者たちは、22名の乗組員の命を守り通したが、残りひとりの無線技手久保山愛吉さんには、この航海が最後のものとなった。致死量の放射能を浴びたかれは、半年後に死んだ。

「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」と久保山さんは亡くなる前に語った。しかし、かれも福竜丸も最後の被害者ではなかった。日本の船舶六八三隻が、その破滅的な爆発によって被災したことが後に判つた。『関西丸』の船長楠瀬亀寿が、放射能で死亡、清水市出身の三名の漁夫と他の都市の何名かが同じ目に遭つたが、何れも五四年三月始めにビキニ環礁周辺にいた人びとだった。この事態をのりこえたと思つた多くの人びとの運命もいろいろだった。後から病気がおこり、何人かの人びとの子供たちに異常がおこつた。

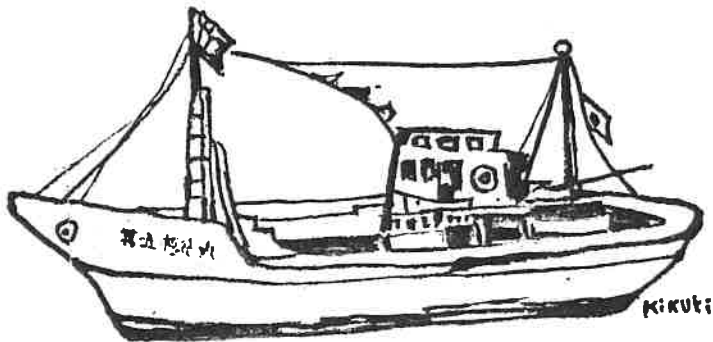
原水禁運動のシンボル

悲劇の航海から三ヶ月のちに政府は福竜丸を買上げ、長い間練習船として使い、一九六七年に船は東京湾の『船の墓場』に身を横たえていた。国内の平和愛好家と民主団体の呼びかけで、原水爆禁止運動のシンボルとして、この漁船を保存するため、

「展示館は一九七六年六月に開設されました。」と展示館々長の広田重道氏は語つた。

「展示館の建設を援助して下さつた方々、船を修理してくれた人達、船の保存資金を集めてくれた人びとが、最初の見学者だったのです。それが大勢だったのです。わたしたちの呼びかけに、日本の平和と未来を大切に考えている人びと、原水爆や中性子爆弾であろうと、大量殺りく兵器の禁止を断固として求めている人びとの総てが、応援してくれました。福竜丸こそ、日本国民の大多数の意志を無視して、今日、日本を核武装し、平和憲法を改訂しようとする人たちに對する重大な警告です。わたしたちは、福竜丸を保存しながら、自分たちのさゝやきを

これら危険な傾向に反対するたにかいに変えることを誇りとしています。福竜丸は、核実験で偶然、苦しんだ、ただの漁船ではありません。広島や長崎と同じように、これもまた、核兵器競争を必然的にもたらす危険な動きにたいする一つの警告なのです。」



カット・練馬・菊地長市さん

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

● 100万人参観者運動を!

'81年3月来館者数 4,513名

通算1カ月平均来館者数 3,686名

通算1日平均来館者数 142名

通算来館者数 210,074名

新しい年度をむかえて 資料室開設をみんなの手で

張 主

第42回理事会の決定
この四月一日から平和協会の新しい事業年度が発足します。新年度を迎え、第五福竜丸展示館の管理、運営(受託業務)に全力をつくすなどの事業の継続は当然のことです。

ただ、とくに、新年度をめざし福竜丸展示館開設五周年、平和協会創立七周年の記念にふさわしい計画として、次の二つの事業の達成を何としても望みたいと思ひます。

二大目標にむかつて

そのひとつは、原水爆被災資料室の開設であり、もうひとつは平和協会の賛助会員の倍増であります。

この二つの目標は実は協会の発展のために欠くことのできない根本的問題なのです。

第42回理事会は、そのことを確認するとともに、その具体化

のための細目を早急に取りきめる方針を決定しました。従つて何れ、その細目を公表しますが、その基本的な考え方はすでに確定してあります。

資料室開設の基本点

第一に、既存の原水爆関係資料の収集・保管と、その公開をめざす整理、目録の作成です。

第二に、新たな原水爆関係資料の収集・保管と、その公開をめざす整理、目録の作成です。

第三に、収容資料の複写施設や閲覧施設の開設、さらに電話や文書による質問、照会への回答体制の確立です。

第四に、国内はもとより海外との情報交換の役割を果すべきです。それは国内、海外の原水爆問題の情報交換の一つの機関となることです。そのために定期報告書、少くとも英文の機関紙ぐらゐは発行すべきでしょう。

資料室開設募金の達成
以上のような資料室の抱えている計画を夢に終らせないためには、先づ、資料室を発足させることです。そのためには、開設募金七五〇万円の早期達成が先決です。

いよいよ、五月から実際の募金に着手することになります。その達成こそキメ手です。

賛助会員の倍増

資料室の維持、運営のためには、賛助会員の増加、少くとも現在の僅か一〇〇名前後の会員数は年度内に倍化することが絶対には必要です。

そのためには、少くとも現在の賛助会員は一名の新会員をご推せん頂くことが望まれます。

この賛助会員の倍増と資料室募金の達成こそが、この記念すべき年度に、平和協会が将来に誇るべき記念品を残せるかどうかのカギであります。

福竜丸展示館への参観者も、年をおうごとに増え、私たちの運動の「未来」はひらけています。決意新たに新年度へ。

運動の「未来」に自信わく

第15回ビキニ事件を知る集い

福竜丸保存運動の過去の未来——この大テーマが、第15回ビキニ事件を知る集いの主議題。三月二十六日、日本教育会館に集まった三〇人の人々は、熱心にこの大テーマのパネルディスカッションに耳をかたむけました。さきに発行された『第五福竜丸保存運動史』の出版を記念



し、これを機にさらに新しい運動を創造していこうとひらかれたもの。パネラーには、朝日新聞記者の岩垂弘、平和協会の田沼肇、評論家の林茂夫の各氏がなり、広田専務理事が司会。運動の全体的評価、教訓と問題点、これからの課題と期待の三つの柱にもとづいて三人のパネラーがそれぞれ発言、とりわけ運動への期待を表明しました。

前日の被爆者援護法制定要求の国民集会にかけつけた長崎の先生も、被爆者の立場から意見をのべ、港区、豊島区の青年たちも討論に参加。

国民的原子禁運動の誕生のきっかけ、運動の統一への地ならしになったこと、本場に市民自らの手で保存運動が達成されたのだろうかなど、運動の栄光と悲惨といった観点からも討論がすすみ、水爆資料センター的な発想を、国際的な視野とひろがりを持った運動を、など未来への確信を生みました。(この記録は近日小冊子で発行の予定)

第42回理事会ひらく

三宅会長ほか役員を再任

三月三十一日、神田学士会館で第42回理事会がひらかれ、資料室の開設、賛助会員の倍増を二大目標に全力あげてその達成をはかることなどを決めました。展示館開設五周年の記念祝賀会を六月八日正午から、日比谷・松本楼で、大衆集いを六月十日

夜、国労会館で開くこと、五月八日、理事会と拡大評議会を学士会館でひらくことも決定。新年度の役員として三宅泰雄会長、榎山義夫副会長、広田重道専務理事、田沼肇、本多喜美各理事と松井康浩、田中健介両監事を再任しました。

★NHKが取材
NHK教育テレビで新しくはじまる「ふるさとの証言」シリーズの三回目に焼津―福竜丸がとりあげられることになり三月十五日そのビデオどりがおこなわれ、久保山かずさんも出席。協会もビキニの死の灰や写真の提供に協力しました。数回にわたって記者・アナウンサーが取材し、展示館内部だけでなく、ヘリコプターで外観を撮影するなど大がかり。四月二十一日夜放映の予定。

★広田専務理事、日青協で講演
三月十三日、日本青年団協議会の研究集会がひらかれ、広田専務が講師として招かれ、福竜丸保存運動の意義など二時間にわたって講演。また十四日には江東区内で東京大空襲と福竜丸について講演しました。

★被爆者援護法制定国民集会へ
三月二十五日ひらかれた同集会には協会代表も参加、決意をあらたにしました。

トピックス

資料

第五福竜丸は警告する

ブラウダ東京支局長・ユー・フドービン

三月九日付ブラウダ(ソ連・党機関紙)は、展示館を二月十九日に訪問、取材した東京支局長の署名入りのユニークな一文を掲載し、第五福竜丸を報道した。以下はそのほぼ全文。(小見出し編集部)。

恐らく一度も雪を手に掴んだこともなく、白樺も見たこともなく、コケモロや山イチゴを知らない日本人は少くないだろう。しかし、恐らく海を見たこともなく、海を知らず、海を心から好きではないという日本人はひとりもないだろう。

日本人と海

海とは魚であり、海藻であり、それなしには日本人の家庭は考えられない。それは温暖な気候をつくり、稲の二毛作を可能にし、みかん類を育て、軽い住宅や暖房を必要としない工場を作るのに役立っている。

海によって日本人は冬には暖められ、夏には涼しくされている。海に近いということは、日本中どこでも感じられ、海岸か

ら一五〇キロはなれた場所はどこにもない。「海のほかに山があるさ、だが、山がくれるものはずっと少いよ。」と日本人は冗談をとばす。

海のお蔭で、いろいろ都合のいいこともあるが、時には島国の住民にとって、いまましいことも起る。それは建物をこわし、播いたタネを駄目にしてしまう台風や津波を引きおこす。海はまた、魚を追って年ごとに故郷から遠くへ遠くへと出て行かねばならない漁夫たちに、死をもたらすこともある。

この十年間で海は不安をもたらす原因の一つになった。巨大な工業企業の所有者たちは、海岸に近い海に不純な生産物を廃棄し、それが大規模に汚染された果となり、それが近くの住民の健康に悪影響を及ぼしている。海から与えられるものが、重い病気や死に人間を追いやる極めて危険な毒物となる場合も少ない。

過去へ誘う「科学館」

今でも日本人は海を愛しているし、その過去を学び、その将来を心配している。「海と人びと」は多くの定期出版物、ラジオやテレビに常に使われているタイトルである。(略)

東京には億万長者の笹川良一の資金で作られたユニークな「船の科学館」がある。

笹川良一の好む船は過去に人を誘う。「第五福竜丸」は決して過去を繰り返さないためのたたかいのシンボルとなっている。

未来を語る展示館

船の科学館から車で数分で夢の島に行き着く。そこは、僅か20年前に東京湾を埋めて立てた場所である。当時、植えられた木々は、今ではこんもりと育ち、公園となり、近くには幾つかのスタジアムや運動場がある。

第五福竜丸展示館は、遠くから見える。その建物は何となく船を思い起させるのだが、ただ竜骨が上にひっくり返った姿をしている。写真ではちっぽけに



親と子の見学会

練馬区のお父さんお母さん展示館に



春とともに展示館は大にぎわい。子どもたちの明るい声がこぼれまわります。
三月二十九日の暖かい日曜日に、練馬区に平和を語り戦争体験を語りつぐ親と子の会のお父さんお母さん子どもたち百

二十余名が展示館を訪問、熱心に水爆の証人を見学しました。「親と子の見学会」として、展示館と上野の下町風俗資料館をめぐる、一緒に考え、語りあおうと企画したものでパンフレットもつくって学習。会には区労働、教組、生協、母親連絡会なども協賛し、練馬文化の会の画家菊地長市さんの福竜丸のスケッチがパンフの表紙をかざっています。
展示館前の芝生でお弁当を食べ、親子そろって「健康体操」歌をうたい、広田館長のお話も聞いて楽しい一日をすごしました。

来館者の声から



まえに学校できたことがありますがそのときはあまりおもしろくなかったけどきょうきたときは、おもしろかった。伊豆たかがかく実験で何人も人が不幸になってかわいそうだ。どの国も自分の国のことばかり考えて、他の国なんかどうでもいいという考えでいるみたいだ。戦争がなくなったらいいと思う。ピッカピカの一年生。やすこ

この展示館のことは聞いていましたが来たのははじめてです。職場の中で、反戦平和といってもどこか慈善事業的に流されてゆくみたいで。また、世の中の動きもそれと合流するかのようになんか危機論をおおりにたてて、原子力を正当化しているように思えます。多くの人に知ってもらいたいので、多くの人に知ってほしいです。赤池

●お知らせ
第五福竜丸平和協会
拡大・評議員会
とき 五月八日(金)
午後二時~四時
ところ 神田・学士会館307号
資料室開設問題など、御相談
します。

戦争をやってはいけな、といわずに、やろうやろうなんて考えて核兵器をつくっていると、思うとその人の心がわからない。人を死なしてなんとも思わないなんていう人がいると思うとおそろしくなる。加藤俊子

軍国主義への道を進めている。いまの政治に不安を感じます。エネルギーの問題にしても原発など東京は関係ないと思いがちです。身近に原子力、原爆のこの様な展示館があれば良いと思います。これからもよいものにしていって下さい。赤池

連載 4

ビキニ事件の追跡

広島は九州南部にあるか

ビキニ事件がどんなにいい加減に扱われてきたかを示す良い例に、ビキニ環礁の位置その他の表示がある。

ことしの三・一ビキニ・デーに行われたNHKや新聞の報道をみると、「南太平洋のビキニ環礁」という表現が平気で使われていたのに驚いた。

南太平洋とは赤道以南の太平洋を指すもので、ビキニ環礁は、赤道の北、北緯十二度近くであり、それを南太平洋というのは「九州南部の広島」というのと変わらない(詳細は付図参照)。ビキニ環礁とビキニ島

マスコミなどで見られるもう一つの特徴は、ビキニ島とビキニ

二環礁との混同である。言うまでもなく、ビキニ環礁はビキニの総称で、ビキニ島は環礁のなかの幾つかの島のひとつである。

一九五四年三月一日に暗号名ブラボオというアメリカの水爆が実験されたのは、ビキニ環礁のナム島であった。

次に、ビキニ事件は三月一日の水爆被災事件ととられ勝ちだが、実は三月一日のブラボオ爆弾を皮切りに五月十四日まで六回の実験による被害事件とみるのが正しい。最後はエヌエトク環礁で終ったこの一連の実験はキャスル・テストという暗号名で呼ばれているが、それだけに被害は第五福竜丸一隻だけではなく、政府発表でも同年十一月末までに六八三隻となっていて

学者の計算では同年十二月末に八五六隻となっている。だから第五福竜丸は被災船の

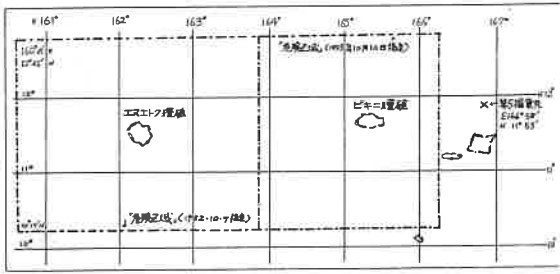
代表的な一隻であることが重要だ。

こうしたマスコミや一般の人のビキニ事件についての記述や説明の不正確さは、まさにビキニ事件の理解そのもののおいまいさを示している。

しかし、それを非難するまえに、いわゆる原水禁運動に関係ある人びとが、まず正確なビキニ事件の真相を知り、それを伝える努力が大切だろう。

少くとも、展示館の見学がい必要ではなからうか。

ビキニ周辺の略図



編集後記

▼レーガン米大統領選挙事件は本当にいやなニュースでした。私たちは暴力否定の立場からあつた暴力事件の起るアメリカの社会的体質に嫌悪の情を禁じ得ません。

▼日本の芸能界や教育、文化界などで、アメリカへの無条件讚美と追従、猿まねが横行し、青少年に無批判なアメリカナイズが流行している現状と照し合わせて誠に心外なことです。

▼日本人は、かつて行われた昭和初頭の軍国主義強化と、そこから起った五・一五事件、二・二六事件など一連の血なまぐさい事件を思い起して見る必要があると思えます。

▼そこには、いささかの暴力肯定も許されず、ましてや、その美化は断じてあり得ません。アメリカ大統領の暗殺事件はそのことを私たちに訴えています。

▼新学期、新入社発足。青年の前進を祈るのみ。(H)